



平成30年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月8日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第2四半期の連結業績(平成29年2月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	640	△23.3	△471	—	△486	—	△323	—
29年1月期第2四半期	834	△22.7	△274	—	△594	—	△388	—

(注)包括利益 30年1月期第2四半期 △320百万円 (—%) 29年1月期第2四半期 △396百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	△37.38	—
29年1月期第2四半期	△44.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第2四半期	5,950	3,384	56.9
29年1月期	6,697	3,791	56.6

(参考)自己資本 30年1月期第2四半期 3,384百万円 29年1月期 3,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,467	△4.8	213	580.5	271	123.7	181	230.3	20.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年1月期2Q	11,096,000 株	29年1月期	11,096,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年1月期2Q	2,444,871 株	29年1月期	2,444,871 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年1月期2Q	8,651,129 株	29年1月期2Q	8,651,129 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外におきまして新興国経済の停滞や欧米諸国と他地域の間における情勢の不安定さが残っており、予断を許さない状況となっております。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、家庭用ハードでは、「プレイステーション4」の全世界における累計実売台数が6,000万台を超えており、発売から好調な滑り出しを見せた「Nintendo Switch」、北米地域における発売時期が公表された新型ゲーム機「Xbox One X」とともに、人気シリーズの最新作を含め、今後のソフト展開に期待が寄せられております。

このような状況のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、主力シリーズの最新作「WWE2K17」(Xbox One・プレイステーション4・Xbox 360・プレイステーション3用)が平成28年10月に発売され好調に推移しております。また、次回作「WWE2K18」の発売時期も公表されております。

自社コンテンツの「AR performers」では、エイベックストラックスからのメジャーデビュー後2枚目となるミニアルバム「A' LIVE2」を平成29年7月19日に発売しました。また、同年7月22・23日に東京のディファ有明にて開催された最先端のAR (Augmented Reality=拡張現実) 技術を用いたライブイベント「ARP『2nd A' LIVE』」におきましては、performer達が有名アーティストのカバー曲を披露し、多くのファンの皆様にご声援をいただきました。加えまして、会場でのグッズ販売で好評により完売したTシャツを、公演後にファンクラブ会員限定で受注再生産しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、2タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

新規案件につきましては、ゲームソフト分野、パチンコ・パチスロ分野、モバイルコンテンツ分野ともに複数のプロジェクトの開発が順調に進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は640百万円(前年同期比23%減)、経常損失は486百万円(前年同期は経常損失594百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は323百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失388百万円)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して747百万円減少し5,950百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少1,366百万円、売掛金の減少125百万円、仕掛品の増加771百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して340百万円減少し2,565百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の減少450百万円、前受金の増加127百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して406百万円減少し3,384百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失323百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては833百万円の資金を使用(前年同期は1,140百万円の資金の使用)、投資活動においては80百万円の資金を獲得(前年同期は150百万円の資金の使用)、財務活動においては535百万円の資金を使用(前年同期は1,114百万円の資金の獲得)いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より1,366百万円減少し3,475百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年1月期決算短信(平成29年3月10日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,841,853	3,475,730
売掛金	274,605	148,808
商品	9,420	6,611
仕掛品	376,099	1,148,034
その他	202,319	288,506
貸倒引当金	△184	△112
流動資産合計	5,704,113	5,067,579
固定資産		
有形固定資産	62,764	60,406
無形固定資産	25,933	22,756
投資その他の資産	904,510	799,574
固定資産合計	993,208	882,737
資産合計	6,697,322	5,950,317
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,669	1,867
短期借入金	2,150,000	1,700,000
未払金	283,689	289,869
未払法人税等	52,896	5,460
前受金	183,632	311,098
賞与引当金	90,858	91,818
その他	6,718	23,689
流動負債合計	2,769,466	2,423,803
固定負債		
長期末払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	74,190	79,556
その他	250	250
固定負債合計	136,640	142,006
負債合計	2,906,107	2,565,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	3,657,603	3,247,673
自己株式	△738,303	△738,303
株主資本合計	3,764,420	3,354,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,452	27,542
為替換算調整勘定	4,341	2,473
その他の包括利益累計額合計	26,794	30,016
純資産合計	3,791,214	3,384,507
負債純資産合計	6,697,322	5,950,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
売上高	834,026	640,077
売上原価	595,356	566,987
売上総利益	238,669	73,090
販売費及び一般管理費	513,027	544,688
営業損失(△)	△274,357	△471,598
営業外収益		
受取利息	14,052	23,354
受取配当金	689	1,425
受取保険金	-	34,194
その他	2,133	4,113
営業外収益合計	16,875	63,088
営業外費用		
支払利息	851	738
為替差損	335,875	77,387
その他	26	331
営業外費用合計	336,752	78,456
経常損失(△)	△594,234	△486,966
税金等調整前四半期純損失(△)	△594,234	△486,966
法人税等	△205,669	△163,548
四半期純損失(△)	△388,565	△323,418
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△388,565	△323,418

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
四半期純損失(△)	△388,565	△323,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	5,090
為替換算調整勘定	△7,362	△1,867
その他の包括利益合計	△7,517	3,222
四半期包括利益	△396,083	△320,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△396,083	△320,195
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年2月1日 至 平成28年7月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年2月1日 至 平成29年7月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△594,234	△486,966
減価償却費	16,323	15,614
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,908	5,365
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,946	1,025
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△199	△72
受取利息及び受取配当金	△14,741	△24,780
支払利息	851	738
為替差損益（△は益）	321,589	76,758
売上債権の増減額（△は増加）	476,750	125,796
たな卸資産の増減額（△は増加）	△812,014	△769,126
未払金の増減額（△は減少）	24,785	8,206
前受金の増減額（△は減少）	△71,929	127,465
その他	△79,000	99,193
小計	△733,857	△820,781
利息及び配当金の受取額	14,074	25,193
利息の支払額	△768	△721
法人税等の支払額	△423,579	△48,390
法人税等の還付額	3,301	11,191
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,140,829	△833,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,120	△10,406
無形固定資産の取得による支出	△808	△1,734
長期貸付けによる支出	△3,363	—
長期貸付金の回収による収入	371	326
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
差入保証金の差入による支出	—	△31,688
差入保証金の回収による収入	—	24,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,921	80,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	1,200,000	△450,000
配当金の支払額	△85,135	△85,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,114,864	△535,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△328,618	△78,440
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△370,506	△1,366,123
現金及び現金同等物の期首残高	3,090,058	4,841,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,719,552	3,475,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年7月31日)および当第2四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年7月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。